

welcome!

町長室

第4回



▲アジア持続可能な観光・南海国際大会で、町のプレゼンテーションを実施

「増税後」を見据えた

「施策・戦略の再計画」の重要性

住民の皆様こんにちは。梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、ご壮健にてお過ごしのことと存じます。

本町では幸いにも大きな災害、特に人災についての発生はありませんが、これも地域の方々の協力、消防団の協力、行政（役場）職員による緊急班体制の確立がスピード感を持って取り組まれていることの表れだと思えます。あらためてお礼を申し上げます。

さて、6月も公務を中心に約100回程度の日程をこなさせていただきました。心身ともにかなりハードな日程でしたが内容としては充実していたと思います。

特に6月17日から韓国・南海で開催された「アジア持続可能な観光・南海（ナメ）国際大会」にて、日本を代表して本町がプレゼンテーション（高森町の計画の紹介）を行いました。国際大会にふさわしい内容で、特に韓国の郡首（日本で例えれば市長）さん、多くの団体、住民の方々の「おもてなしの心」には学ばべきことも多かったと思います。結果としては、①熊本県の産業戦略の中心が阿蘇である。②阿蘇の中でも素材が抜群な南阿蘇。③その南阿蘇の中で高森町としての戦略：主にこの3点を紹介させていただきました。

現地の方々、マスコミ等々を含めて「阿蘇＝高森町」のイメージを印象づけることは出来たと思いますが、それと同時に「光ファイバー回線が整備されていない」ことが国際交流の妨げになっていることをあらためて痛切に実感した次第です。

将来的には子ども達の交流を含め、修学旅行での交流やツーリズム事業を念頭においた「アジア各地とのおつきあい」を定着させ、その先を見据えた戦略を練ることが必要です。

また、日本という国家が大きく変動する「消費増税法案」が衆議院で可決されました。これは私たち国民にとっては大変な事態です。昨年までは「消費税の議論が始まるのが平成25年であり、導入は早くても平成28年」ということでした（政権交代時の公約であり当然です）。

それがまさか？…時の政権が「国民の生

活に直面する公約」を破棄し、堂々と「消費増税ありき」のキャンペーンを行うとは夢にも思っていなかったことです。

私にとっても、1年前に出した政策集は「消費税はあがらないこと」を大前提とした政策集です（時の政権が国民に約束したことですから当然です）。

つまり、私を含め、他の地方自治体も「施策・戦略の再計画」を余儀なくされることになりました。政府が言う「増え続ける社会保障費には増税で対応する」とすれば、毎年1兆円規模で増え続ける社会保障費を補うためには消費税率を毎年上げていかなければならなくなります。

消費税の是非の議論は横に置き、要するに国会で承認されれば平成26年4月から増税となりますので、私たち行政職員は「増税後」を見据えた施策を再計画しなければと強く思っております。

最後になりましたが、7月28日には「阿蘇郡市消防操法大会」が高森町民グラウンドで開催されます。この大会は高森町での開催が12年に1度しかありません。地元消防団の気合も相当高まっております。あとは住民の皆様からの熱い声援を期待しておりますので、是非とも当日は会場にお越しいただき応援を宜しくお願い致します。梅雨明けも間近です。お健やかな日々をお過ごしください。

熊本県高森町

町長 草村 大成